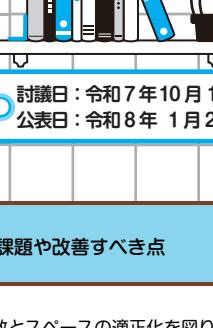


放課後等ディサービス事業所における自己評価結果

COMPASS. 松山 GREEN



討論日: 令和7年10月17日

公表日: 令和8年1月20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47mとなっており、基準以上のスペースが確保されております。	今後も人数とスペースの適正化を図り、机の配置等環境を整え、密を避け適切な距離の確保に取り組んでまいります。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに入り、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおりま	今後も適切な人員を確保して、余裕のある人員配置を継続してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達、環境上の配慮が適切になされているか。	7		現時点では車椅子利用の児童の利用契約はあります。室内、トイレはバリアフリーとなっており、車いすの移動にも対応出来るようになっております。 駐車場、玄間に続く通路はバリアフリーになっておりませんので、今後改善をしてまいります。	生活空間は今後も個々の特性に応じた適切な環境であるよう安全面への配慮をあきらめない、全ての児童の活動や支援に支障がないよう、移動しやすい空間設定を心掛け、環境の整備に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		事業所内外の掃除を毎日おこない、定期的に換気もおこなっています。 机や椅子、玩具等の消毒も毎日徹底しておこなっております。	今後もブレイルームの机の配置を活動に合わせて変える等、児童が心地よく過ごせるよう配慮してまいります。 事業所内の清掃や感染症予防の対策も継続しておこなってまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個人室を改良した事業所なので、部屋が少し狭いですが、パーティションを利用して、集中して療育に参加出来る環境を確保しております。	今後も各部屋の机の配置を活動に合わせて変えて、パーティションを効果的に利用し児童が心地よく過ごせるよう配慮してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		日々のミーティングや毎月のリフレクション会議で、気付きや支援の方法等について職員全員で意見を出し合い、現状の把握と目標設定をおこない、その内容をシートに記入し情報共有をおこなっております。	日々の申し送りや会議で継続して話し合い、情報共有の精度を高めています。 当日参加できなかった職員に対しては、記録を確認してもらいたい、必要に応じて質疑応答をおこなう情報共有の徹底を図ってまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者様に協力いただき、年1回アンケート調査をおこなっております。	今後もアンケート結果を踏まえ、職員間で話し合い、問題点を把握し、業務改善に向けて取り組んでまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に一度リフレクション会議を実施し、職員の意見を把握する機会を設けております。 サービス提供時間帯、時間後でも利用し意思疇道を図っております。	日々の申し送りや会議で継続して話し合い、当日参加できなかった職員に対しては、記録を確認してもらいたい、必要に応じて質疑応答をおこなう情報共有の徹底を図ってまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年度初めに年間研修予定を計画し、事業所内研修を実施しています。 定期的な研修の開催で職員の意識が向上できるように努めています。	感染症対策や接遇マナー、虐待防止、療育方法等の勉強を実施していますが、新人職員も増えたので、必要に応じて外部研修にも積極的に参加してまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	定期的にプログラムの見直しをおこない、保護者様に説明すると共に、職員間で周知を徹底してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	7		保護者様との面談を通してニーズ等をお聞きする事で、保護者様の状態をアセスメントし、成長と発達に応じた計画を作成しております。	児童の状態に応じて送迎時や家庭連携等で保護者様とコミュニケーションを密に取りながら、日々変化する状況やニーズ把握に努めています。
	13 放課後等ディサービス計画を作成する際は、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関する職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援計画書のモニタリングの後、個別支援計画の案の作成をおこないます。 作成後個別支援会議を実施し、計画を検討することで職員間の意識の共有を図っております。	定期的に個別支援計画の見直しと支援会議を行い、保護者様とコミュニケーションを密に取りながら、日々変化する状況やニーズ把握に努めています。
	14 放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童発達支援計画書に沿ったプランを、支援に携わる職員間の共通認識となるよう共有を図っております。	今後も支援計画に沿った支援を提供できるよう、継続して認識の共有に努めています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		統一化されたアセスメントシートを使用し、内容を元に支援計画の作成へと繋げております。	今後も適切な期間にアセスメントをおこない、より良い支援計画が立案出来るよう努めています。
関係機関や保護者との連携	16 放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		保護者様とのコミュニケーションを密に保つことで、保護者様の意向を尊重するよう努めています。	今後もガイドラインに沿って、概ね半年ごとにモニタリング、見直しをおこない、児童や保護者様の意向を反映し、具体的な内容が設定された個別支援計画を作成してまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		ケース会議で児童の特性や、活動内容の見直しをおこない、職員間で話し合い環境等を考慮し、チームで立案しております。	職員全員が日々の申し送りやミーティングであこなう情報共有に努め、意見を交換しながら見直しをおこない、チームでの立案を継続してまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		療育内容の見直しや話し合いを随時おこなう固定化しないようプログラムの工夫に努めています。	申し送りやミーティングでの話し合いを固定化を避け、長期休みでのイベントや季節ごとの活動、製作などを取り入れ、今後も変化に富んだ活動の立案を心掛けているります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の発達段階に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しております。	今後も個別での療育を基本としながらも集団活動を組み合わせて、皆でおこなう運動や季節ごとの行事、製作などを取り入れ、今後も変化に富んだ活動の立案を心掛けているります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝利用予定に基づき、当該児童について職員が意見を出し合い、支援内容や役割分担を確認しております。	今後も毎朝の職員間の打ち合わせで連携を図り、当日の流れ、支援内容や役割分担について情報共有、確認のうえ、支援に取り組んでまいります。
保護者への説明等	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後は送迎等で全員参加にならない時もありますが、支援の中で気づいた事や気になった事等職員間で伝えあい、共有しております。 共有内容は連絡ノートに記載し、不在の職員が何時でも確認できるようにしております。	今後も職員間で起こった事の共有をおこない、どんな小さな事でも見出しをおこない、全員で振り返りをおこなってまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援について必ず記録をおこない、更に体調や生活状況の変化についても記載し、職員間で情報共有をおこなう支援の改善に繋げております。	今後も毎日の記録の記入を継続し、どんな細かなことでも話し合って意見を出し合い、振り返りをおこなってまいります。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的に必ずモニタリングをおこない、面談にて保護者様のご意向を踏まえ、児童の状況や課題などを話し合い、計画の見直しを判断しております。	今後も半年ごとの見直しだけではなく、日々のわりの中で家庭連携支援や聞き取りをあこなう情報共有に努め、意見を交換しながらプログラマの見直しをおこない、児童の発達段階に合わせた適切な支援を行ってまいります。
	24 放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		4つの基本活動((1)自立支援と日常生活の充実のための活動、(2)創作活動、(3)地域交流の機会の提供、(4)余暇の提供)を複数組み合わせて支援を行っております。	学童期・思春期の幅広い年齢層や発達の状況、また障害の多様性に対応できるよう発達段階に合わせたより細かい支援を行ってまいります。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自己決定力と自主性を高められるよう、療育のプログラムを実施しております。 療育以外の自由時間も自主性を高められるよう指示を出され、児童自身が行動を決められるよう支援をおこなっております。	今後も職員が日々の申し送りやミーティングでおこなう情報共有に努め、意見を交換しながら見直しをおこない、保護者様と細かいところでも話しやすいうまく関係づくりに努め、支援計画に反映させてまいります。
非常時等の対応	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には、児童の状況を一番把握出来ている児童発達支援管理者、その他の児童に多く関わる指揮官等が参画しております。	今後も全ての職員が情報の共有をおこない、チームとして参画してまいります。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となりしていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について検索してまいります。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		必要に応じて関係機関連携をおこなっております。 学校、保護者様と確認を取りながら情報共有を行っております。	今後も学校、保護者様と密に連携を取り情報共有に努めています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		就学時の移行の際、保護者様と密に連携を取り教育相談等の結果を共有しております。 必要に応じて入学先の学校と支援内容等の情報共有と相互理解を図っております。	今後も関係機関と連携して、支援内容等の情報共有と相互理解を図ってまいります。
	30 学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		現在、該当する児童がおりらず、情報提供等に至っておりませんが、今後該当する児童が卒業する場合、移行した事業所等に情報を提供してまいります。	今後該当者がいる場合には、保護者様から同意をいただいたうえで、就労事業所等に情報公開や助言等をおこなってまいります。
C	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてエーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		現時点で児童発達支援センターとの連携や研修は企画出来ていません。	今後は研修や講演等に積極的に参加するよう検討をしてまいります。
	32 放課後児童クラブや児童との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		現時点で事業所主催の交流の機会は企画出来ておりません。	保護者様のご意向をうかがいながら、ご要望に応じて交流の機会を検討してまいります。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7		事業所の代表者が地域の協議会に参加し、職員間で情報共有をおこなっております。	日程の調整が難しい場合もありますが、自身が必要な研修・講演等に参加できるよう努めています。
	34 白旗から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡ノートや送迎時に保護者様から話を聞き、事業所での様子や課題について面談を活用して情報交換をおこない、児童についての共通理解を深めています。	今後も引き続き、保護者様と情報共有を密にし、共通理解に努めています。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加で研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		送迎時や連絡帳のやり取りを通して、ご質問等への助言をおこなっております。 保護者様による支援の内容を理解していただき、協力していただける部分はご家庭でも取り組んでいたりしております。	今後も継続して保護者様のお悩みに寄り添う支援をおこなってまいります。
C	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		保護者様のお話に寄り添う姿勢を大切にしています。 子育てや児童の発達の悩みなどの相談には、話しかけやすい雰囲気をつくって心掛け、時にはご家庭への訪問等、保護者様の事情に合わせた支援に努めています。	今後も保護者様のお悩み等について適切な助言を継続し、保護者様に寄り添った支援を心掛けているります。
	37 放課後等ディサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的に必ずモニタリングをおこない、面談にて保護者様のご意向を踏まえ、児童の状況や課題などを話し合い、ご質問等での計画の作成をおこなっております。	今後も毎年この見直しだけではなく、日々のわりの中で保護者様や聞き取りをあこなう情報共有に努め、意見を交換しながら見直しを行ってまいります。
	38 「放課後等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ディサービス計画の同意を得ているか。	7		共有ガイドラインが示す支援内容と保護者様のご意向にしっかりと向かい合い、保護者様より理解を得ております。	今後も保護者様のご意向や、児童の状況に応じて作成した支援計画について丁寧なご説明に努めています。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様のお気持ちに寄り添う姿勢を大切にしています。 子育てや児童の発達の悩みなどの相談には、話しかけやすい雰囲気をつくって心掛け、時にはご家庭への訪問等、保護者様の事情に合わせた支援に努めています。	今後も、保護者様のお悩み等について適切な助言を継続し、保護者様に寄り添った支援を心掛けているります。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者同士で交流する等の支援をしているか。	7		現時点では父母の会を開催する機会を持つことは出ておりません。	今後もご意見には、出来るだけ迅速に対応するよう努めています。
C	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情や申し入れには迅速に対応出来るよう努めています。 適切に対応が出来るように、些細なことでも報告をおこなう場合、全職員に周知し、ご意見と対応についての共通理解を図っております。	今後もご意見には、出来るだけ迅速に対応するよう努めています。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月の活動の様子の掲示、季節ごとの会報の発刊、隔月で公式Webサイトのブログにて活動、行事や成長の報告をおこなっております。	今後も情報の発信を継続かつ保護者様にご案内し、児童の活動を知りたいだけに努めています。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報管理を徹底しており、閲覧書類はすべて書庫に保管しております。 必要時以外は施錠し、鍵については運営管理責任者が管理をおこなっております。	今後も変わらず、運営管理責任者が鍵の管理をおこなってまいります。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童や保護者様の状況に寄り添い、言葉だけではなく、ジェスチャーやメモ等を用いて、分かりやすく情報を伝えられるよう配慮しております。	今後も連絡帳を充実させるよう、お互いの情報がスムーズに交換し合えるように努力してまいります。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		現時点では、事業所行事に地域住民を招待する様な企画はございません。	現在地域との交流や親睦は実施出来ておりませんが、保護者様のご意向をうかがいながら、社会との交流も兼ね、避難訓練や地域清掃等を検討してまいります。
C</td					